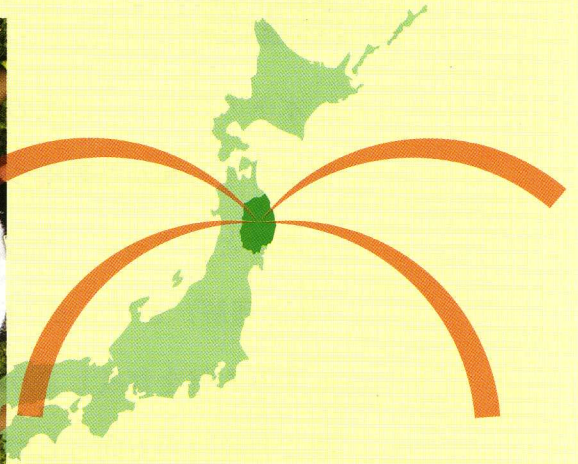


岩手県立大学盛岡短期大学部

Morioka Junior College at Iwate Prefectural University

特色GPフォーラム

テーマ:多文化共生社会において大学が果たすべき役割
The Role of Universities in a Multi-Cultural Society



平成19年12月8日(土) 13:30開会

会場:岩手県立大学滝沢キャンパス

講堂 定員200名

基調講演 谷口 誠 (岩手県立大学学長) 「グローバル化時代の大学の役割—多文化共生社会の育成に向けて—」

パネルディスカッション「多文化共生社会のために、大学は何ができるか?」

What can universities do to promote a multi-cultural society?

●パネリスト

松岡 洋子 (岩手大学国際交流センター准教授)

結城 恵 (群馬大学教育学部准教授)

山本かほり (愛知県立大学文学部准教授)

●コメンテーター: 細江 達郎 (岩手県立大学社会福祉学部教授)

J.F. モリス (宮城学院女子大学学芸学部教授)

酒匂 康裕 (韓国 慶熙大学校国際教育院客員助教授)

●コーディネーター: 石橋敬太郎 (岩手県立大学盛岡短期大学部教授)

申込方法

先着順の受付となります。電話・FAX・ホームページでお申込みください。

TEL: 019-694-2900 FAX: 019-694-2901

URL: <http://www-mori.iwate-pu.ac.jp/gp/>

岩手県立大学盛岡短期大学部事務室 〒020-0193 岩手県滝沢村滝沢字巢子152-52

主催 / 岩手県立大学盛岡短期大学部 後援 / 岩手県・盛岡市・滝沢村・岩手県国際交流協会

11月28日(水)
申込締切

特色GPフォーラム

多文化共生社会において大学が果たすべき役割 The Role of Universities in a Multi-Cultural Society

概要

本学の取組は、地域の国際化に対応すべく、異文化体験により、学生の学習に対する確かな動機づけを行うとともに、複数の文化領域を同時連携的に学ぶことによって、自文化理解（自己理解）を基盤とした深い他文化理解（他者理解）とプレゼンテーション能力とを身につけた、豊かな国際感覚を有する人材を育成しようとするものである。こうした取組を基盤に新たな国際文化教育の方向として、外国人住民を生活者あるいは地域住民として「地域を支える主体」と認識し、国籍や民族を超えた多文化共生の地域づくりを目指し、変容しつつある社会の中で主体的に活躍できる人材育成を目指すことが要請されている。

本フォーラムは、国際交流、GPによる教育実践などを基にしつつ、今後進行する多文化共生社会に対応するために、大学が果たすべき役割をパネルディスカッションを通じて確認し、それを広く全国に発信する。

プログラム

- 13:30 主催者挨拶（岩手県立大学盛岡短期大学部長：佐々木 隆）
- 13:40 基調講演（岩手県立大学学長：谷口 誠）
「グローバル化時代の大学の役割—多文化共生社会の育成に向けて—」
- 14:30 パネルディスカッション
「多文化共生社会のために、大学は何ができるか？」
- 17:00 終了